



CONCERT XYLOPHONE

YX-30G/30GF/35G/35GF

CONCERT MARIMBA

YM-35G

取扱説明書

Owner's Manual

Руководство пользователя

使用手冊

사용설명서



(YM-35G)

『安全上のご注意』(2ページ)を必ずお読みください。

Make sure to read the "PRECAUTIONS" on page 10.

Обязательно прочтите разделы «МЕРЫ БЕЗОПАСНОСТИ» на стр. 12.

务请阅读第 20 页的“注意事项”。

22 페이지의 “예방 조치” 을 반드시 읽어 주십시오 .

日本語

Русский / English

한국어 / 中文

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、




お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、右表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

設置



正しい手順で組み立ててご使用ください。
誤った組み立て状態では、楽器が倒れてけがをするおそれがあります。



楽器の組み立てはかならず2人以上で行なってください。

1人で作業すると楽器が倒れてけがをしたり、楽器が破損するおそれがあります。



楽器をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

取り扱い



楽器にがたつきや異音、振動があるときはすみやかに使用を中止し、各部のねじを締めなおしてください。
楽器が倒れてけがをするおそれがあります。



キャスターのすき間などの可動部分には、絶対に手や足を入れないでください。
はさまれてけがをするおそれがあります。



楽器にもたれかかったり、乗ったりしないでください。
楽器が倒れて、けがをすることがあります。



楽器のまわりで遊ばないでください。
身体をぶつけてけがをするおそれがあります。楽器の転倒の原因にもなります。お子様が楽器のまわりで遊ばないように注意してください。



地震による強い揺れにより、楽器が移動したり転倒してけがをするおそれがあります。
地震の際は楽器に近づかないようにしてください。

移動



キャスターを利用した移動は、滑らかな平坦面でのみ行なってください。

傾いた所や凹凸のある道、じゃり道などでは楽器が倒れたり暴走してけがをするおそれがあります。



キャスターを利用して移動する時には走らないでください。
楽器が止まらなくなって、壁にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。



持ち上げて運ぶ際は、必ず2人以上で、側枠を両手で持って運んでください。
1人や側枠以外の場所を持つと楽器が分解したり転倒してけがをするおそれがあります。










楽器を組み立てた状態で、階段の登り降りをして運ばないでください。
部品が落下したり、バランスを崩して倒れたりしてけがをするおそれがあります。必ず分解した状態で運んでください。





注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

取り扱い

-  **楽器の上に物をのせないでください。**
音板や枠を傷める原因となります。
-  **割れた音板はすみやかに交換してください。**
音板の割れ目は鋭利ですから、手などを切る危険があります。
-  **マレットは演奏目的以外には使用しないでください。**
けがや事故の原因となります。お子様が人の身体を叩いたり、口に入れたり、危険な行為をしないように注意してください。
-  **音板を硬質のマレットや、その他の硬いものでたたかないでください。**
音板にへこみやキズができたり、音律が狂う原因ともなります。特にマリンバの音板には独特の深みのある音色を出すため、柔らかい材質を使用していますので注意してください。
-  **硬質マレットによる超強打は避けてください。**
音板が割れることがあります。
-  **脚や支柱の組み立て、共鳴パイプのセットは2人以上で作業してください。**
手や指をはさんでけがをしたり、部品が落ちて傷がつくおそれがあります。
-  **音板のお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。**
シンナーやベンジン、濡れぞうきんなどは絶対に使わないでください。
音板の表面塗装を侵すなど、楽器を傷める原因となります。

移動

-  **車で運ぶ場合は、お買い上げ時の状態まで分解し、しっかり梱包してください。**
はだかのまま移動すると、楽器が傷つく原因となります。分解は、組立と逆の手順で行なってください。
-  **移動の際は、ていねいに取り扱い、決して落としたり、投げたりしないでください。**
楽器は衝撃に敏感ですので、楽器が傷つく原因となります。

■ 注記（ご使用上の注意）

- ・ 各部のネジは、位置が決まったらしっかりと締め付けて固定してください。
ゆるんだ状態で使用すると演奏中に楽器がずれたり、雑音が出たり、トラブルの原因になります。またこれらのネジは時々締め直してお使いください。
- ・ 次の場所では使用しないでください。梱包されたままであっても同様です。
調律が狂う原因となります。
 - ・ 窓際などの直射日光の当たる場所や、日中の車内、暖房機具のそばなど、極端に温度が高い場所
 - ・ 温度の特に低い場所
 - ・ 湿気やホコリの多い場所
 - ・ 振動の多い場所
 - ・ 雨水のかかる場所
- ・ 頻繁に移動するような場合は、各部のボルト類がゆるむことがあります。
移動前後には、ゆるみをチェックし、ゆるんでいる場合は締めてください。
- ・ 音板の紐は吊金にきちんとかけてください。
紐がはずれていると、響きが悪くなります。
- ・ 共鳴パイプの中にもものを落とさないでください。
音の響きを損なう原因となります。
- ・ 使用しない場合は、付属のカバーをかけてください。
音板をほこりから守ります。また、付属のカバーをクリーニングする際は、ドライクリーニングをお願いします。

各部の名称

■ YX-30G/30GF/35G/35GF, YM-35G

(写真は YM-35G)

- ・ 本文内の説明には、すべてYM-35G のイラストを使用しています。そのため、YX-30G, YX-30GF, YX-35G, YX-35GF とは、一部イラストが異なる個所があります。

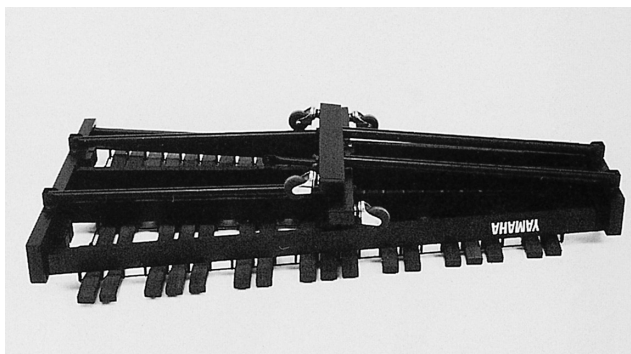


組立手順

安全のために、組み立ては十分スペースのある場所で行なってください。
床にじゅうたんや柔らかい布などを敷いておくとよいでしょう。

※ 組み立ては 2 人以上で行なってください。

- 1 じゅうたんなどの上に、本体を裏返して置きます。



- 2 左右の脚を開き、蝶ナットを十分にゆるめておきます。



3 支柱と脚ステーを取り付けます。

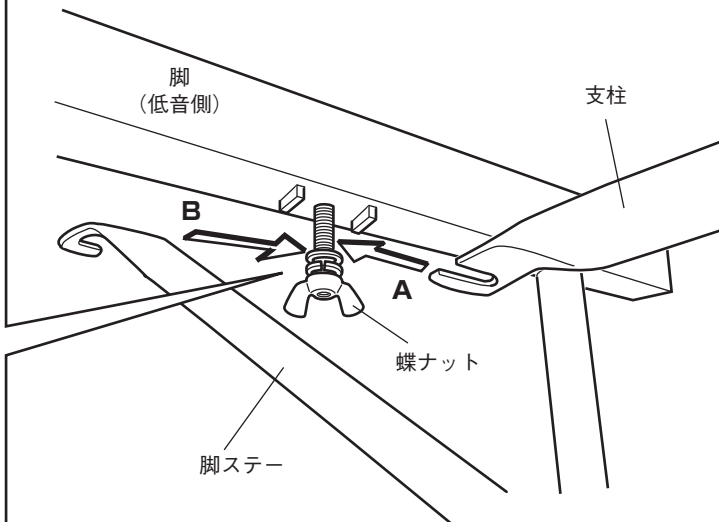
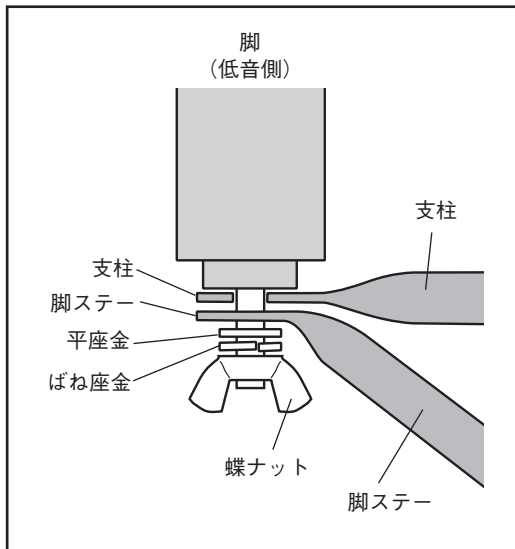
支柱を取り出し、方向に注意しながら最初に高音側の脚部に固定します。

次に、低音側に支柱と脚ステーの両方を固定します。まず支柱を **A** の方向に、次に脚ステーを **B** の方向に差し込みます。このときばね座金と平座金は、低音側は蝶ナットと脚ステーの間、高音側は蝶ナットと支柱の間にくるようにし、しっかりと蝶ナットを締めてください。



ばね座金と平座金は、脚ステーと支柱の間や支柱と脚の間に入れないでください。
固定がゆるんで楽器が倒れたり、けがをするおそれがあります。

注意



4 本体を起こします。

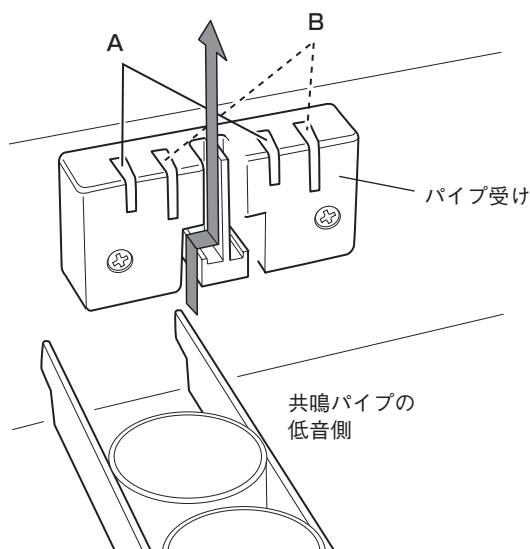


5 共鳴パイプを取り付けます。

ぶつかけたり、落としたりしないように注意して、共鳴パイプを長枠の下から入れます。最初に高音側を差し込んでください。



共鳴パイプの低音側をかける場合は、パイプ受けの真ん中の溝を通して持ち上げます。室温が 22℃ 以上の場合は浅い方 (A) へ、22℃ 以下の場合は深い方 (B) へかけてください。

**6 最後に各部のネジがしっかりと締まっているか、もう一度確認してください。音板の汚れは、乾いた柔らかい布でふいてください。**

正しい演奏の仕方

正しい姿勢

体は楽器本体から少し離し、マレットが自然に音板の中央にくる位置に立ちます。上体を曲げたり、反ったりしないように注意しましょう。

ひじの力を抜き、ひじが体側から離れすぎたり、後ろに突き出したりしないように、体にそった自然な形で演奏しましょう。

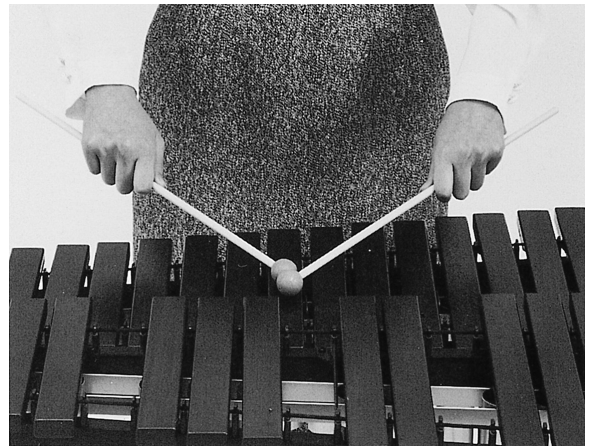
足は肩幅くらいに開き、こころもちつま先に重心をかけます。



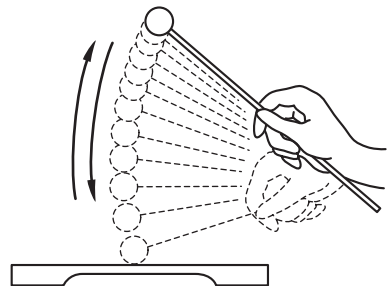
マレットの持ち方

マレットのほぼ中央部を親指と人指し指でつまみ上げるように握ります。中指以下は軽くそえるようにしましょう。また、手の甲は上に向くようにしてください。

左右のマレットを約 90° に開き、右手のマレットが手前になるようにします。



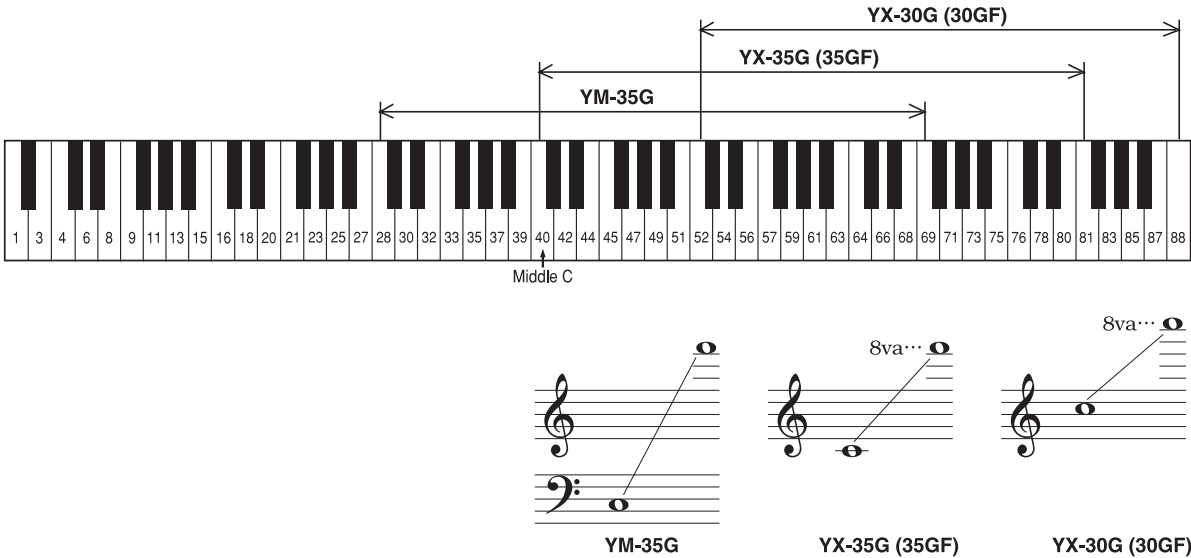
音板の中央部を、手首のスナップをきかせて、はずませるように叩きます。



仕様 / 音域表

	YX-30G (30GF)	YX-35G (35GF)	YM-35G
音域	ソプラノ・アルト 3 oct. C52 ~ C88	アルト・テナー 3 1/2 oct. C40 ~ F81	テナー・バス 3 1/2 oct. C28 ~ F69
音板材質	カリン (アークスタロン)	カリン (アークスタロン)	アフリカンパドック
間口	106cm	120cm	154cm
奥行	57cm	66cm	80cm
高さ	82cm	82cm	85cm
質量	17kg (20kg)	21kg (24kg)	35kg

● ピアノの鍵盤との比較



※ 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。
取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

